

孝太郎

かえで

高島

天使／＼ゆみ

悪魔／＼面接官

1

悪魔 青年は、落ち込んだ気分であった

SE 雨の音、雷も鳴る。

孝太郎 くそっ…もう、ただだよ

孝太郎、舞台の下から走って出てくる。何かから逃げている。

天使 青年よ、何から逃げている？

孝太郎 …現実から

天使 あら、つらいことでもあったのね

悪魔 決まらない就職先

孝太郎 なんでこんなに落ちるんだよ…もうどこでもいいから内定くれよ…

悪魔 足りない単位

孝太郎 このままじゃ卒業できない、やべえちゃんとやらないと…

悪魔 つらいバイト

孝太郎 おかしいだろ、今日絶対3人で回せる日じゃなかったよ…

悪魔 不幸ってのは重なるもんだよなあ、そうそれはまさにミルフィーユ…!!

孝太郎 そう、本当は…本当はこんなはずじゃなかった

天使 何があったの？

孝太郎 彼女が浮気してたんだ。上手くいってると思ってたのに…すごく信頼してたんだ

悪魔 そいつは信じがたいなあ、でも見たんだろ？

孝太郎 見た

天使 何を？

孝太郎 かえでの家に行ったんだ。いつもは事前に連絡してから行くんだけど、今日は特に疲れていたから、だから、連絡する気力もなくて…迷惑かもしれないと思ったけど、それでも俺の足はかえでの家に向かっていた

悪魔 彼女の愛で癒してもらおうと思ったんだな。…ひえ〜気持ち悪い！

天使 それで？

孝太郎 それで、駅から彼女の家に向かった。暗い道だった。街灯のない道を歩くんだ。風が吹いていた。それで彼女の家に着いた。2階にある彼女の家。鍵は開いていた

天使 それで、ドアを開けて中に入ったんだね！

孝太郎 すると俺は違和感を覚えた、いつもと違う感じがした

悪魔 靴だな

天使 知らない男物の靴があったのね

孝太郎 それで薄々感づいてはいた、家の中に入るとシャワーの音がした。かえでが浴びていたんだと思う

悪魔 すると目線の先

天使 奥の部屋のかえでのベッドの上に

孝太郎 男がいた。右手に缶チューハイを持って、スマホをいじっていた

かえで、登場。バスタオルを巻いた姿。

かえで どうしたの？ あ…孝太郎。（少し動揺して）なんだ、来るなら連絡してよ

…

孝太郎 この人は？

かえで …ああ、今日たまたま、遊びに来てて…

悪魔 男は首にタオルをかけていたな

天使 白いタオル！

孝太郎 憎たらしいほどに白かった。夏なのに雪を見たような気分だった

かえで …私、着替えてくるね！（孝太郎に）何か飲む？

孝太郎 いや、いいよ…

かえで、退場。

SE 雷の音、BGM ロックミュージック

孝太郎 嘘だろー！…！ かえでが浮気！？

悪魔 最悪だ、信じたくないよな

孝太郎 かえでは美人で明るい性格だから、いつ他の男に取られてもおかしくないのはわかっていた、でも！ まさかこんなタイミングで…

悪魔 せっかく彼女に慰めてもらおうと思っていたのになあ！

孝太郎 ラインもあまり返さないし、そっけないところもあるけどなんだかんだ俺のこと好きでいてくれるってのが俺の中で一番アツいところっていうか、やっぱりこの人と付き合ってた良かった！って思えるポイントだったのに！

天使 何はともあれ踊りま show…

悪魔、天使、孝太郎、音楽に合わせて踊る。

悪魔、退場。

天使 連絡なしで家に行ったのは今回が初めて？

孝太郎 そう、いままでは事前に聞いてたんだ、今から行ってもいいかって。でも今日はすごく心が疲れていて、かえでに会いたって思ったから……だから、油断してたのかな？ そうだ、俺が来るはずないって思ってたから、あの男を家に呼んだんだ…

天使 油断してたってことは、リラックスしてたってことかな？

孝太郎 リラックス……！！ そうだ、彼女、バスタオルを巻いた状態で出てきたんだ。俺という時は絶対にそんなことしない。そこはすごく厳しいんだ、髪を乾かし終わるまで絶対に扉を開けちゃいけない。なのにさっきは、服も着ないまま出てきた……？

天使 何だか、彼女の違う一面を見たような気分になるね！

孝太郎 違う一面？ それどころか、まったくの別人に思えてくるよ。いつから浮気してたんだろう……今まで俺が大好きだった、愛していたかえでの姿はほんの表面的な、彼女が意図的に俺に見せていた、演じていたものにすぎないってことなのかなって

天使 彼女のこと、好き？

孝太郎 そりゃあ好きだよ。大好きだった。でも、彼女はそこまで俺のことを想ってなかったんだ……だって、浮気してたんだから！

天使 ダメだよ！ 自分の気持ちに背を向けちゃ！ 本当に彼女のことを好きなら、彼女の心を取り返さないと！

孝太郎 そんなこと、できるかな……

天使 できるよ！ 付き合って長いんでしょ？

孝太郎 もうすぐ一年になるな。記念日は二人でお祝いしようって思ってたのに……

天使 ほら、弱気になっちゃダメ！ 彼女との楽しかった日々を思い出して！

孝太郎 ……………でも

天使 すももも桃も桃のうち！

孝太郎 は？

天使 甘い桃もあれば、酸っぱい桃もあるんだよ？

孝太郎 それって……

2

照明変わる。

守衛　いたぞー！　捕まえろー！

守衛たち　vs　ロミオの激闘アクション。

ロミオ　あれは…あの輝き、ジュリエットは太陽だ！　ああ、美しき太陽！　ジュリエット、僕の愛する女性。ああっ！あの手袋になりたい！　そうすれば、彼女に触れられる…

ジュリエット　おお、ロミオ、あなたは どうしてロミオなの？　あなたの名前が私の敵であるならば、その名前を捨てて！　名前に何の意味があるの？　手でもない、足でもない、バラの花を別の名前で呼んでも甘い香りは同じ、そうでしょう？　だからロミオ、完全無欠の私の王子様！　その名前を捨てて、代わりに私の愛を受け取って！

ロミオ　お受けしましょう！　僕のことを恋人と呼んでおくれ！

ジュリエット　どうやってここへ来たの？　あの壁は、高くて簡単には超えられないはず…

ロミオ　恋の軽い翼で、飛び越えてきたのさ

ジュリエット　まあ！　でもダメよ、うちのものに見つかったら殺されてしまう

ロミオ　さつきちよつと見つかってしまったんだけど、大丈夫、僕のほうが一枚上手だったみたいだ

ジュリエット　そんな

ロミオ　彼らの持つ剣よりも、あなたのその瞳のほうが僕にはよっぽど恐ろしい。せめて優しいまなざしを、それさえあれば僕は不死身です

ジュリエット　どなたの手引きでここに？

ロミオ　恋の手引きで。恋が知恵を貸し、僕が目を貸したのです。僕は水先案内じゃない、しかし、たとえあなたが遠くの最果ての海に洗われる渚であろうと、きっとそこまで漕ぎつけるだろう！（ポーズ）

ロミオの振り回した剣がジュリエットに掠る。

かえで 痛っ

孝太郎 あ、ごめん。ちょっとストップー！ ごめんごめん！
かえで もー痛いー！

孝太郎 ごめん、大丈夫

かえで 大丈夫、ちょっと擦り傷できただけ

孝太郎 絆創膏、誰か持ってる？ あ、部室か。持って来てくれる？ ごめんありが
と！

かえで 力入りすぎじゃない？

孝太郎 だよ、ちょっと振り回しすぎた

かえで そうじゃなくて、演技

孝太郎 え？

かえで 勢いよく言うのはいいんだけど、ちょっと投げやりに聞こえるなあって思っ
た

孝太郎 そうかな

かえで うん、ロミオはジュリエットのこと本気で愛してるんだから、もっと深みが
必要だと思うんだよね。私も人のこと言えないんだけどさ

孝太郎 ああ、でもわかる。俺もそう思ったんだよね、その、深みがないなって

かえで ちよつとさ、練習しよつか！

孝太郎 うん！ あでも、腕大丈夫？

かえで 大丈夫、もう何ともない

孝太郎 そっか

かえで じゃあ、台本とか気にしなくていいから、私のことをめっちゃ可愛い女の子
だと思って、ちよつと演技してみてよ

孝太郎 お、おっけー

かえで じゃあいくよ、よーい、スタート！

孝太郎 「お姉さん、かわいいね。俺すげータイプなんだけど！ え、よかったらさ、
30分だけ付き合ってくれない？ ご飯奢るからさー」

かえで ストップ。違うよね

孝太郎 あ、違った？

かえで それナンパだよ、しかも低レベルの。すごい雑なナンパ
孝太郎 ごめんなさいふざけました

かえで 知ってる。もう一回チャンスあげるね？

孝太郎 ハイ。マジメニヤリマス

かえで 今度は、言葉なしでやろう

孝太郎 言葉なし??

かえで そう。言語に頼らずに愛を表現してみて

孝太郎 おお、わかった

かえで じゃあいくよ、よーいハイ!

二人、サイレントでしばらく演技する。

かえで いいね! いいよ!

孝太郎 いいのかな...? でもなんか、湧いてきた気がする、愛が

かえで そろそろ台詞でやろっか

孝太郎 そうだね

かえで じゃあさ、私見てるから、代役入れてやってみようよ

孝太郎 代役で?

かえで うん。違う人を相手にしてやってみるのもいい練習だと思うし?

孝太郎 そっか

かえで じゃあ、ちょっと新生に代役頼もうかな

孝太郎 ああ、そうだね、じゃあジュリエット役を誰かに:

かえで あなた! こっちに来て!

かえで、観客の一人を舞台上に連れてくる。

かえで ごめんね、まだ私一年生の名前覚えきれてなくて、お名前聞いてもいい?

お客さん ——

かえで じゃあ——ちゃん、ここに立ってて。立ってるだけでいいから! じゃ孝太

郎、ジュリエットへの愛を語るシーンやってみようか

孝太郎 おお、わかった

かえで いい、力強さも大切だけど、優しさ、繊細さも忘れずにね

孝太郎 わかった！

かえで じゃあ、「恋の手引き」のところから。ではいきまーす、よーい、ハイ！

孝太郎 恋の手引きで。恋が知恵を貸し、僕が目を貸したのです。僕は水先案内じゃない、しかし、たとえあなたが遠くの最果ての海に洗われる渚であろうと、きつとそこまで漕ぎつけるだろう！ これほどの宝を、手に入れるためなら！

かえで、手を叩いてストップの合図。

かえで どうだった？

孝太郎 さっきより、上手く出来た気がする

かえで ——ちゃんはと思った？

お客さんの感想を聞く。

かえで そっか、ありがとう。もう戻って大丈夫！

孝太郎 ありがとう！

お客さん、席に戻る。

かえで いい顔してたよ

孝太郎 あ、ありがとう

かえで じゃあ休憩後、もう一回今のところ！

孝太郎 わかった！

天使、入ってくる。

天使 去年の夏の舞台、ロミオとジュリエット。これがきっかけで付き合い始めたんだよね

孝太郎 そう。一年前か、懐かしいな

天使 思い出して。彼女のこと、すごく好きだったじゃない。ロミオにとってのジュリエットみたいに、孝太郎にとって、かえでは太陽みたいな存在だった

孝太郎 そう、好きだった。しっかり者で、お洒落で、お茶目で、努力家で、演劇のことばかり考えてる人だった。俺も、サークルの皆も、彼女のが大好きだった

天使 孝太郎のほうから告白したんだよね

孝太郎 うん。ロミジュリの公演の後、ちょっとバタバタしてたけど

天使 そして、二人は付き合い始めた！

♪Douce France

箱馬が二つ。向き合って座る孝太郎とかえで。

かえで すごーい、めっちゃ海

孝太郎 ああ…東京湾、だよ

かえで …大丈夫？

孝太郎 ああ、うん。けっこう高いんだね

かえで あ、もしかして、高いとこ苦手？

孝太郎 まあ、ちょっとね

かえで 何だあ言ってくればいいのに

孝太郎 いやでもさ、ここまで来て観覧車乗らないのも何かなあって思っ

かえで そうかな？

孝太郎 だって、定番じゃん

かえで まあね。あ、前のカップルめっちゃいちゃついでる

孝太郎 (後ろを見て) ああ、本当だ

かえで わーもうすごいよ、ああー、ああーあー

孝太郎 そんなにガン見する!?

かえで だって、視界に入ってくるんだもん

孝太郎 何か、見てはいけないものを見る気にならない?

かえで んゝ、でも、こういうとこでやってんのが悪くない?

孝太郎 まあね

かえで …すごい高いとこまで来ちゃった

孝太郎 わあ、ほんとだ

かえで やばい?

孝太郎 けっこう慣れてきたかも…いや、やっぱ怖いわ

かえで はは、震えてるじゃん

孝太郎 けっこう揺れるんだね、これ

かえで そうだね…なんか気の毒

孝太郎 いちゃいちゃする余裕ないわ

かえで そっかあ。…残念

孝太郎 …何か言った?

かえで ううん

孝太郎 うわあ…高いなあ…

かえで ねえ孝太郎

孝太郎 ん?

かえで もし私が浮気したら、どうする?

孝太郎 えっ? どうするって…どうするだろう

かえで 私は、もし孝太郎が浮気したら、顔面殴る

孝太郎 こっわ

かえで 私、小学校の時空手やってたんだ

孝太郎 そうなの? 初めて知った

かえで 意外?

孝太郎 うん。…俺は、どうだろう、わかんないけど…浮気はさせないよ

かえで そんなことできるの?

孝太郎 だって、かえでが俺で満足できてたら、浮気なんてしないはずだろ?

かえで ふふっ、なにそれ。確かにそうかもね

孝太郎 だからさ、いかに浮気させないかじゃない？

かえで なるほどね。…じゃあ、私も、孝太郎に浮気させないようにがんばる

二人、手をつないで舞台中央に来る。向き合い、手を振り、かえで退場。

愛の BGM

孝太郎 何ていとおしいんだ、こんな気持ちは初めてだ。こんなに素敵な彼女、俺にはもったいないくらい！ 世界が、まるで違ったように見えてくる。きっとロミオもこんな気持ちだったんだろうな…

悪魔 青年は浮かれていた。恋をしている人間と狂った人間とは同じもの、理性を

失い、言葉も通じないような状態だ。ヒトというよりは動物に近い

天使 あら、動物のように生きるのも案外幸せかもしれないわ。小さなことでクヨクヨしなくて済むもの

悪魔 そう！ 人間というのはどうも小さなことで大いに悩む。全くしょうもないゴミみたいな問題に精神をすり減らすのだ、哀れとしか言いようがない

天使 でもそこが、人間の面白いところよ？

悪魔 へっ、天使はお気楽でいいねえ

天使、悪魔、退場。

夕日照明。SE波の音。孝太郎とかえで。

かえで ♪いのち短し 恋せよ乙女

孝太郎 何それ？

かえで ゴンドラの唄。知らない？

孝太郎 知らない、かも。続きは？

かえで えっと、続きは…

孝太郎 歌ってよ

かえで いのち短し 恋せよ乙女 赤き唇 褪せぬ間に

熱き血潮の冷えぬ間に 明日の月日はないものを
こんな感じ？ たぶん

孝太郎 あー、知らないわ

かえで 何だよっ

孝太郎 でもなんか、寂し気な歌だね、「いのち短し」って

かえで んー、そうかもね。でも実際さ、人生ってあつという間だって思わない？

孝太郎 そうかな

かえで 私のおばあちゃんも言ってた。いつの間にか80年も生きてたわあーって

孝太郎 80年は短くないだろ

かえで 私たちからしたらそう思うけどさ、本人が言ってるんだから一理あるかもよ

孝太郎 そうなのかなあ

かえで ごめん、変な話して

孝太郎 いやいや、面白いよ。そういうこと考えるの

かえで ほんと？

孝太郎 うん。…でも、かえでと一緒にいると、時間があつという間を感じる

かえで (笑って) 相対性理論ってやつ？

孝太郎 …たぶん？

少しの間。かもめの声。

かえで 懐かしいなあ、小さい頃、よく海で貝殻拾ってた気がする

孝太郎 あー、俺も貝殻集めてた

かえで これとか、きれいじゃない？

孝太郎 おお、すごいきれい

かえで でしょ？

孝太郎 …かえでも、すごくきれい

かえで え？……夕日の効果じゃない？

孝太郎 うん、そうかも

かえで　なんだよ！（パンチ）

孝太郎　痛い痛い（笑）…よく見つけたね

かえで　私ね、目が良いの！

孝太郎　さすがだわ。持って帰る？

かえで　うーん、やめとく

孝太郎　え、いいの？

かえで　うん。物理的なものがあると、寂しくなりそうじゃない？

孝太郎　…なんで？

かえで　とにかくそうなの！　浜辺で見つけた貝殻は、浜辺で一期一会なの！

孝太郎　ああ、じゃあ、そうなんだな

かえで　そう！

孝太郎　じゃあ、そろそろ…

かえで　ね、海入ろ！

孝太郎　え？　いやだって、服とか…

かえで　ちよつとだけ！　ね！　荷物あっち置いてさ！

かえで、去って行く。目で追う孝太郎。

かもめの鳴き声。

3

孝太郎　（話し始めたらピンススが点く）やっぱり俺にはかえでしかない。最近忙

しくて、デートする頻度も減ってたから、きつと、彼女も少し気の迷いが生じて浮気しちゃっただけだ。まだ修復できる、だって…こんなに好きなのに、簡単に諦められない

悪魔　青年よ、どこへ行く

孝太郎　彼女のもとへ戻るんだ、ちゃんと話をしないと

悪魔　何を話すって言うんだ、かえではお前じゃ飽き足らずに浮気してたんだぞ。

裏切られたんだよ、お前は。所詮彼女にとってお前はその程度の男だったの

さ

孝太郎 まだわからないじゃないか！ 今からならまだ、遅くないかもしれない…

悪魔

いいか、現実はそのなに甘くない。学校のテストとは違うんだ、たいていの問題は解決しない。エントロピー増大の法則だよ。万物は徐々にぐちゃぐちゃになる。どんなに頑張って、その一部を整えようとしても、そのうちに別の部分が崩れてくるんだ。最初は美しく完璧に見えていても、それが崩れるのは時間の問題だ。お前とかえでの恋人関係も、まあそこまでだったってことよ

孝太郎

あんた…悪魔だな

悪魔

今さら気づいたのか？

二人、退場。

高島、ゆみ登場。

ゆみ

桃太郎さん！ 何をためらっているんですか！ 武器も調達できましたし、早く鬼退治に行きましょうよ！

高島

サルさん、違うんだ。ためらっているんじゃないくて…本当にこれでいいんだろうかって

ゆみ

え？ 何がです？

高島

その、鬼と共存する道はないのになって

ゆみ

いまさら何を言ってるんですか、やつらはこの村で海賊行為を繰り返す悪党どもですよ！ このまま放っておけば、この村は奴らの食い物になっちゃいますよ

高島

それはわかっている、でも和解の道もないわけではない、そうだろう？ 対等な貿易関係を結ぶことだって

ゆみ

できませんよ！ 第一、言葉が通じない。奴らは知能が低いから、我々の話す高度な言語を理解しないんですよ。だから金棒を振り回し、暴力に頼って我々の土地を征服しようとする。だったら我々も、力で対抗するしかないでしょう。こっちのほうが上だということを知らしめてやらなくちゃ

高島 言葉の壁は確かにあるけれど、それはきつと乗り越えられるさ。それより、暴力で解決しようとするのは間違っているような気がするんだ

ゆみ 桃太郎さん、無駄な話し合いはやめましょうよ。あんな奴ら簡単に倒せますよ、数も少ないし。それに、わかってるでしょう？ 奴らの住んでいる土地は石油が出るんですよ。奴らを倒せば平穏も手に入られて、その上石油までいただいちゃう、こんないい話はないでしょうが

高島 それこそ海賊行為、いや侵略行為じゃないか！ 本当に悪質なのは僕たちのほうなんじゃないか！？

ゆみ ちょっとやめてくださいよ、え？ 鬼の肩を持つんですか？ だったら……
桃太郎さん、吉備団子の話はなかったことになりますねえ（剣を抜く）

かえで、入ってくる。

かえで ハイ！ おっけー、いい感じ。ゆみちゃんもだいぶ良くなったね

ゆみ ありがとうございます

かえで 表情めっちゃ良かったよ！ 今日を感じ、忘れないようにね！

ゆみ はい

かえで 高島さんは、さすがですね

高島 え、本当？

かえで はい、バッチリでした

高島 何かちょうだいよ、フィードバック

かえで そうですね：あ、しいて言うなら、もうちょっと困惑した感じがあってもいいかも

高島 困惑？

かえで 桃太郎は、葛藤してるんです。だから、自信満々ってよりかは、自分自身にも疑問を抱いているというか、迷っている感じが出せるともつといいかなって思います

ゆみ かえでさん、私この後用事あるんで先帰りますね

かえで あ、うん、わかった。お疲れ様！

ゆみ退場。

かえで　じゃあ、そろそろ時間なんで、私たちも撤収しましょうか

高島　そうだね

かえで　お疲れ様です

荷物をまとめる二人。

高島　いやー、すごいよね

かえで　え、何がですか？

高島　よくこんなの思いつくなつて

かえで　あ、脚本ですか？ありがとうございます！

高島　桃太郎の新解釈。やってて楽しいもん

かえで　うれしいです。私も、楽しいです

高島　やっぱりかえでちゃんさ、こっち方面の才能あると思うよ

かえで　こっち方面とは？

高島　演劇というか、エンタメというか。演技も上手いし

かえで　本当ですか？

高島　本当だよ、間違いなく才能がある

かえで　そういつてもらえたと救われます。まだまだですけど

高島　難しいよね、演出って。考えること多いからね。人も集まらないし

かえで　そうなんですよね、人が集まらない…みんな忙しい時期ですからね

高島　孝太郎はどうしたの？

かえで　ああ、孝太郎は…何か用事があるって言ってました

高島　そっか。最近来てないよね

かえで　ですね…来るように言っておきます

高島　うん。キジがいないと物語進まないからね

かえで　何か、本人は不満そうでした

高島 そうなの？

かえで 端役だ、端役だって。どの役も大事なのに

高島 まあ、前회가ロミオだからねえ。人間じゃなくなっちゃってるし

かえで ですね。でもちゃんと来てもらわないと。高島さんの卒業公演ですし

高島 俺ももう卒業かあ、実感わかないな

かえで 私も、実感わかないです。高島さんがいないの想像つかない

高島 そういえば、留学の話、どうなった？

かえで ああ：今ちよつと調べてる最中です

高島 そっか。行けるとこ見つかるの良いね

かえで ありがとうございます

高島 やっぱり、ニューヨーク？

かえで うーん、かなあって思ってます

高島 だよな、演劇やるならニューヨークって感じるもんね

かえで ですよ、それに、あっちの舞台とかも観てみたいし

高島 かえでちゃんは外に出るべきだよ。いろいろ吸収する力があるから

かえで めっちゃ褒めてくれるじゃないですか

高島 卒業間近だしね。じゃあ、行こっか

かえで あ、私、孝太郎と待ち合わせしてて

高島 …あ、そう

かえで 今日はここで。お疲れ様でした

高島 うん、おつかれ。じゃあね

高島、退場。かえで、歩き出す。

居酒屋の喧騒、向かい合って座るかえでと孝太郎。

孝太郎 お疲れ様、冬公演の演出、大変そうだね

かえで 大変。ってか、他人事じゃないからね？ 孝太郎も出演するんだから

孝太郎 まあほら、俺端役だから。出番そんなにないし、心配しなくて大丈夫だよ

かえで 役の大小は関係ないでしょー！すべての役者がちゃんと作り込まないと、劇

全体に影響するんだから

孝太郎 そうだね

かえで あと、端役じゃないから

孝太郎 …ごめんね、今日も練習行けなくて

かえで うん…就活関連？

孝太郎 そう、まあ、それだけじゃないけど

かえで 授業？

孝太郎 うん、レポートとか、溜まってて

かえで 大変だよ、私も頑張らなきゃ

孝太郎 かえでは？ 就活とか、どう？

かえで 私は…特に何もしてないかな

孝太郎 そっか

かえで ちょっと迷っててさ、このまま就職していいのかなって

孝太郎 そうなんだ

かえで でも、今は劇のことで頭がいっぱい

孝太郎 そうみたいだね。でも俺びつくりしたんだよね、役者としてのかえでは知ってたけど、今度は演出もやるなんて。すごいよ

かえで すごくないよ、全然。好きなだけ。至らないところも多いしさ

孝太郎 …そっか

かえで すみませーん、ハイボールください！メガジョッキで！

孝太郎 まだ飲むの？

かえで だめ？

孝太郎 いや、いいけど。ハイボール好きだったっけ？

かえで 最近好きになり始めてる

孝太郎 そっか

かえで なにー？

孝太郎 いや、何でもないけど

かえではメガジョッキを受け取り、飲む。少しの間。

孝太郎 から揚げ、美味しいね

かえで うん、美味しい。ジューシー

孝太郎 家で料理とかするの？

かえで するよー、一人暮らしだもん

孝太郎 まあそうか

かえで 孝太郎は？

孝太郎 んー、まあするよ。簡単なものなら

かえで から揚げは？

孝太郎 から揚げはしないかな、大変だから

かえで わかる。でも私はする

孝太郎 え？ から揚げ作るの、家で？

かえで うん。小さい頃お母さんに教えてもらって、秘伝のレシピがあるの

孝太郎 へえ、すごい

かえで 今度作ってやるよ

孝太郎 あ、ぜひ、お願いします

かえで ひひひひひっ

孝太郎 なんか…すごい酔ってない？

かえで うーん…そうかも？

少しの間。

かえで ねー孝太郎

孝太郎 なに？

かえで 最近デートしてないね

孝太郎 …ああ、そうだね

かえで そんなに忙しいの？

孝太郎 今月と来月は忙しいかな。まだわかんないけど

かえで そっか。大変だね

孝太郎 うん、大変

かえで 私って樂觀的？

孝太郎 どうしたの急に

かえで 前に孝太郎に言われたじゃん、かえでは頑張り屋さんだけど、オプティミス
ティックだって

孝太郎 言ったつけそんなこと

かえで 言ったよお…

孝太郎 …そろそろ行こうか、もう夜遅いし

かえで うん。あ、待って、これ飲む

孝太郎 そんなに飲んで大丈夫…？

かえで ぷはー、よし、帰ろう

立ち上がる二人。照明変わる。かえではふらふらしている。

かえで あ、終電なくなっちゃった

孝太郎 え、まじ？（スマホを見て）あー、そっかもう電車ないのか

かえで わーやらかしたー（ふらふらしている）

孝太郎 （かえでの手を取って）ちよつと、危ないよ。タクシー捕まえて帰る？

かえで いいよ、歩いて帰る

孝太郎 いや、無理でしょここからは

かえで 大丈夫だよ、私、歩いて帰ったことあるもん

孝太郎 でもほら、酔ってるしさ

かえで 大丈夫だって、もお心配性だなあ

孝太郎 …俺の家、泊ってく？

かえで ……いや、それは申し訳ないよお

孝太郎 いいよ、泊っていきなよ。けっこう狭くなっちゃうけど

かえで えー…いいの？

孝太郎 うん。心配だし

かえで …ごめんね

孝太郎 大丈夫。おいで

照明変わる。孝太郎の家。

かえで おじゃましまーす

孝太郎 ごめん、本当に狭いんだけど、荷物とか、そこらへんに置いてね

急いで片づける孝太郎。かえで、座る。

孝太郎 シャワー、する？

かえで うーん…

孝太郎 すっごい眠そうだね

かえで んん、ちよつと眠い…

孝太郎 …もう、寝る？

かえで …うーん…

かえで、体勢を変える。寝そう。

かえで ねえ、孝太郎

孝太郎 なに？

かえで 私さ、留学、行くかも

孝太郎 留学？ どこに？

かえで アメリカとか。演劇の勉強したいなって

孝太郎 ああ…

かえで 海外で勉強したいって思ってたし、前から。大学生のうちに行ってみてもいいのかなって

孝太郎 そっか。…お金は？

かえで それは親に聞いてみなきゃだけど…孝太郎はどう思う？

孝太郎 …かえでが行きたいなら、いいんじゃない？

かえで そうだよね。…ありがとう

かえで、眠る。照明フェードアウト。

サイレンの音。不穏なBGM。

孝太郎 やばい、やるが多すぎる、落ち着け、このままじゃキャパオーバーにな
ってどれも中途半端なまま総倒れする…！

SE ブザーの音。

孝太郎 はっ！ 大学の課題…！ 今日中にレポートを提出しないと単位が危うい
…えっと、文字数は…あと500!? まあ、何かてきとうにそれっぽいこ
とをつらつらと書いて、よし、あと300か…って待って、課題図書を参考
にしながらいけないんだった！ やべえよ読んでる暇なんかないし…流し
読みしよ、で、てきとうにここらへんを引用して…よし、いいよな、これで。
いや、ひどいなあ…そんなこと言ってる場合じゃない、とにかく提出しない
と！ おりゃああ…！

SE 爆破音。

孝太郎 ……はあ。また、ゴミレポートを提出してしまった…

SE 五右衛門的なやつ。

SE 強風の音。

孝太郎 うわ、なんだこれ…

メールの天使、登場。

天使 リンリン！ メールだよん！（手紙を出す）

孝太郎 メール？ リンリンって何？

孝太郎、強引に手紙を渡されて中身を見る。

孝太郎 厳正なる選考の結果、誠に残念ながら

（天使もハモって）ご希望に添いかねる結果となりました

天使 今後のご活躍をお祈り：

孝太郎 もういいよ！ また不採用かよ：

面接官、登場。

面接官 あ、座っていいよ

孝太郎 失礼します！

面接官 おっ体育会系だねえ。じゃあ面接始めるけど、俺さ、なんかこう、堅苦しいのは苦手だからさ、今日は「カジュアル面接」でいこうよ、ね。だからさ、えっと：山田くんも、そんな緊張しないで、肩の力抜いてラクーにしちゃっていいからね。なんならタメ口でしゃべってもいいよ？

孝太郎 いや、それは：

面接官 冗談冗談！ さすがにきついよな、ははは！

孝太郎 ：ははは

面接官 えー学校では何やってんの？

孝太郎 あ、大学では：

面接官 あーいやいや、こんなのもう何百回と話してるでしょ、面接で。じゃあちょっと他のこと聞いてみようかなあ：あ、山田くんさあ、彼女いるの？

孝太郎 彼女、ですか？ ：います

面接官 ダメダメダメ、ダメだよ正直に答えちゃ。今の時代、こういうこと聞いちゃいけないの、セクハラとかね、プライバシーとかいろいろ言われちゃうんだ

から

孝太郎 はあ…

面接官 そういうところはね、ちゃんとセンサー張ってないとだめよ、「先輩、その質問良くないですよ」って言わないと。うちの会社でもね、セクハラ、パワハラ、モラハラ、それからマルハラ、こういうのは徹底的になくしていこうっていう方針でいるのね。やっぱお互いさ、気持ちよく仕事したいじゃん。ねえせっかくさあ、毎日顔を合わせるんだからねえ

孝太郎 ああ…そうですね！

面接官 不採用

孝太郎 えっ

面接官、退場。

孝太郎 え俺、ほとんどしゃべらなかったけど…？ …カジュアル面接って何…？

面接官、再び登場。違った雰囲気。

面接官 はい・じゃあ・面・接・はじ・めて・いき・ます

孝太郎 （小声）すごいスタッカート…よろしく願います！

面接官 えーと、山田さん

孝太郎 はい！

面接官 ここは第一志望？

孝太郎 あ、第一志望では、ないんですけども、こちらの…

面接官 ああはい、結構です。第一志望かどうか聞きたかっただけなので。聞かれた質問以外は答えないようにしましょうね

孝太郎 …はい

面接官 えー、じゃあ、血液型は？

孝太郎 血液型？…Aです

面接官 A…几帳面…

孝太郎 …

面接官 聞いている？

孝太郎 はい聞いてます

面接官 じゃあ答えてくださいよ、あなたは几帳面なんですか？

孝太郎 ああ、えっと、はい、けっこう几帳面かなと思います

面接官 部屋はきれい？

孝太郎 あー…そこまできれいではないかもしれませんが…

面接官 几帳面なのに？

孝太郎 あ、でも、整理整頓とかするのはけっこう好きで…

面接官 ちょ、ストップストップ。(半笑い) 嘘を、言わないでください。几帳面で
す、でも自分の部屋汚いです、じゃああなたは几帳面じゃありません。わか
る？ 私たち採用担当って、学生の嘘を聞きたいわけじゃないんですよ。う
ちの企業にとっていい影響をもたらす人材かどうかを吟味したいの。山田く
ん。聞いている？

孝太郎 はい、聞いてます…

面接官 はい。じゃあまあ今後も頑張って

面接官、退場。

孝太郎、立ち上がり、舞台中央に来る。うなだれている。顔をあげ、大きく息を吸
い込む。

孝太郎 いらっしゃいませ〜！

バイト先の居酒屋。

ゆみ登場、居酒屋店員風。

孝太郎 お疲れ様

ゆみ あ、コータさん、明日の遅番って出れたりします？

孝太郎 明日…まあ、一応出れるとは思うけど…

ゆみ まじですか！ あの、出来ればシフト変わってくれませんか…？

孝太郎 ああ…いいよ

ゆみ わ～まじ助かります！ 変わってくれる人全然いなくて～

孝太郎 まあ、この店けっこう人手不足だもんね

ゆみ そうですよ～皆卒業してっちゃったから～

孝太郎 まあ俺も、あと一年で卒業だけど

ゆみ てか、コータさん今月全然シフト入ってないじゃないですか。何かあるんです

か？

孝太郎 ああ、いろいろ、立て込んで…

ゆみ そっかあ、店長、怒ってましたよ？

孝太郎 え？

ゆみ 怒るは言い過ぎたかもだけど、少ないなあってボヤいてた

孝太郎 ああ、それは申し訳ない

ゆみ まあいろいろ忙しいとは思うんですけど、店長の機嫌悪いとまじでこの店空
気悪くなるんで、そこんところは頼みますよ、ね？

孝太郎 ああ、はい…

ゆみ じゃ、一服行つてきまーす

孝太郎 いってらっしゃい…

高島、孝太郎、かえで登場。

孝太郎 桃太郎さん！ 出ましたよ鬼が！ さあ、さっそく戦いましょう！

高島 くそつ、共存の道はないのか…

かえで あーあーあー！！（金棒を振りかざす）

孝太郎 危ない！！

かえで あーあー！！ ああー！！

高島 何て言っているんだ…言葉の意味さえ分かれれば、コミュニケーションができ
るのに…

孝太郎 あっ！！

高島 どうした、キジ!?

孝太郎 俺、この言葉わかります

高島 お前まじか!! え、何で??

孝太郎 前に勉強したことあるんすよ、鬼語

高島 鬼語っ!?

孝太郎 ハイ

高島 よし、じゃあこいつが何て言ってるか教えてくれ!

かえで あーあー、あーあーあーあー!

孝太郎 お前たちの持っている食料を全て奪いたいと言っています

高島 なんてことだ:

かえで あーあー! あー!

高島 :何か、違うっぽいぞ?

孝太郎 え?

かえで あーあー、あああーあ、あー!

高島 何かわかんないけど、取引をしたいみたいだぞ

孝太郎 えっそんな、え俺の通訳: 知らない?

かえで あーあー、ああー!

高島 米か、米が欲しいんだな? ライス?

かえで あー!

孝太郎 何で通じてるの!?

高島 こういうのは心が大事なんだよ

かえで あーあー!

孝太郎 な、なるほど?

高島 よし、じゃあ鬼のリーダーと話をしに行くぞ

孝太郎 え、あ、ハイ

高島 お前たちの、リーダーに会わせてくれ!

かえで あー?

高島 リーダー、ボス! 会いたい!

かえで ああ! あーあー!

高島　よっしゃ、通じたみたいだ

孝太郎　いや本当かよ!?

SE 電車の音。照明変わる。高島はけ。

かえで、座っている。

孝太郎　もう行くことは確定したってこと?

かえで　まだ確定じゃないけど、親に話してみたら意外と好感触で。今年の秋から、行ってみようかなって

孝太郎　えー何で?

かえで　…何が?

孝太郎　何で留学行くの?

かえで　やっぱ、アメリカで演劇の勉強してみたいなって思っ。日本だとき、大学で演劇の授業とかってあんまりないじゃん?　だし、英語もちゃんとできるようになりたいし。私、昔からね…ねえ、聞ってる?

孝太郎　ん?　聞ってるよ

かえで　本当に?

孝太郎　お茶、いる?

かえで　…うん

孝太郎、お茶を取りに行く。

孝太郎　やっぱわかんねえな

かえで　…何が?

孝太郎　かえでが何考えてるか。ちょっと前まで冬公演のことで頭がいっぱいかと思っ。次は留学に行きたいとか言い出すからさ。先が読めないなあって思っ

かえで　ねえちよっとバカにしてない?

孝太郎　してないよ!　俺、かえでのそういうところも好きだから

かえで …留学は、別に急に思いついたんじゃないくて、前からずっと考えてたの
孝太郎 すごいなあ、俺なんて考えたことすらなかったよ

かえで 留学？

孝太郎 うん。今の大学で手いっぱい。かえでの家ほど裕福でもないし

かえで うちも別にお金持ちじゃないけど…私の考えを尊重してくれたんじゃない
い？

孝太郎 俺も昔さ、将来は英語ペラペラになって、海外で働きたいとか思ってたこと
あったけど、今はもうそんなこと全然考えてないな。現実的に無理だなんて
思うから

かえで そう

孝太郎 あ、だから、かえではすごいねって話だよ

かえで ふーん…

孝太郎 何で怒ってんだよ

かえで 怒ってないよ

孝太郎 いやでもなんか…何か言いたげだから

かえで …孝太郎にとって私ってさ、どういう存在なの？

孝太郎 どういう存在って？

かえで かえではすごいねってよく言うけどさ、それって客観的に見てすごいねって
こと？ それとも、本当に私のことをすごいって思ってくれてるの？

孝太郎 …どういうこと？

かえで んー、何か…すごい他人事みたいな言い方するから。距離を感じる

孝太郎、かえでをそばに引き寄せる。

かえで (笑って) そうじゃなくて

孝太郎 なんだよ

かえで なんでもない。お手洗い借りていい？

孝太郎 うん

かえで、退場。しばらくの間。

孝太郎の電話が鳴る。かえで戻ってくる。

孝太郎 あ、もしもし？ うん、大丈夫よ。あ、そうなんだ、あー待ってね…大丈夫、じゃあ金曜日で、うん。全然全然、うん、じゃあねー（電話を切る）

かえで 私、そろそろ帰ろっかな

孝太郎 …もう帰る？

かえで うん。なんか、雨降りそうだし

孝太郎 あー、そうだね

かえで じゃあ、またね

孝太郎 あ、あのさ、来週の金曜日なんだけど、予定入っちゃったから別の日に変えてもいい？

かえで ああ…いいよ？

孝太郎 もともと違う日になる予定だったんだけど、さっき電話かかってきて、どうしても都合がなくなっちゃったって言うからさ

かえで そっか。友だち？

孝太郎 そう。高校時代の

かえで ふーん

孝太郎 土曜日は？ どう？

かえで 土曜日…？ あ、ごめん私、その日予定あるよ

孝太郎 あ、そうなの？ どっか行くの？

かえで 高島さんと会う日

孝太郎 高島さん？ 二人で会うの？

かえで そうだけど…前に話したよね？

孝太郎 いやいや、初めて聞いたよ。え、二人で会うの？

かえで だからそうだって。私言ったよ？

孝太郎 そうだっけ…？

かえで そうだよ。…嫌なの？

孝太郎 いや、別にいいけど。聞いてなかったから

かえで 言ったってば

孝太郎 わかったよ、じゃあきつと俺が忘れちゃったただけだね

かえで …私がもつとちゃんと言えはよかったね

孝太郎 …いや、ちゃんと聞いてなかった俺が悪いよ

かえで 嫌ならやめるよ？

孝太郎 嫌じゃないよ、本当に。じゃあ…日曜は？

かえで 日曜は大丈夫

孝太郎 あ、ごめん俺がバイトだったわ。えーまじか

かえで …いつでもいいよ？

孝太郎 …わかった、じゃあまた連絡するわ

かえで うん

孝太郎 駅まで送ろうか？

かえで 大丈夫、すぐそこだし。じゃあね

孝太郎 …うん、じゃあね

照明変わる。

BGM 陽気な音楽。舞台中央に孝太郎、上手にかえで。

孝太郎 (楽しそうに) ああ、内定が出ない！ また人格を否定された、もう嫌だ！

あれ、単位…単位が足りないんじゃないか？ おいおいこれじゃあ卒業できないよお、もう勘弁してってえー！ あ、ああーバイトのシフト出さなきゃ

…って今更ながら俺このバイト合わない気がするんだよなあ、めっちゃきついし…あゝ部屋の片付けもしなきゃなあ、あ、この漫画、買ってからまだ読んでないじゃん、うわーほこりかぶってるよ、可哀そうに。読んであげなきゃ。やべっもうこんな時間、そうだ今日かえでと会う日じゃん、とりあえず行くかゝゝ

かえで 久しぶり！ (BGM 終わり)

孝太郎 ああ、久しぶり…だね

かえで、孝太郎に近づく。二人でセンター割り。

かえで 就活、大変そうだね

孝太郎 そうだね

かえで 私ね、留学先が決まったの！ まだこれから手続きとかいろいろあるんだけど、行けることは決まったんだ

孝太郎 おお、そっか、良かったね！

かえで うん

孝太郎 あ、ねえ、今度映画見に行かない？

かえで いいね、最近行ってないし！ あ、遊園地は？

孝太郎 いいね！ 遊園地も行こう。最近忙しくてもう大変だからさ、気晴らしにパアツと遊びたいんだよね！

かえで そうだね。あとき、暑くなってきたし、かき氷とか食べに行かない？

孝太郎 かき氷？ おお！ …いや、かき氷はいいかな

かえで え、あ、そう…

孝太郎 ねえ聞いてよ、この間の面接が意味わかんなくてさーオンラインだったんだけど質問が意味不明で、つかよく聞き取れなくて

かえで へえ…

孝太郎 はあ…今、人生で一番苦労してる気がする

かえで 大変そうだよ、私の周りの子たちも皆すごい苦戦してるみたいで

孝太郎 かえでってさ、就職しないの？

かえで …まだ、しないかな。するとしても、留学から帰って来てからかな

孝太郎 あー、そっかあ…

かえで 孝太郎なら大丈夫だよ、根が真面目だもん。スーツ姿も似合ってるし！ 私あげたネクタイのおかげもあるけど！

孝太郎 うん…

かえで …あ、日程、決めよっか！ 映画の。てか何観る??

孝太郎 …

かえで ねえ、孝太郎？ 孝太郎、聞ってる！？（揺さぶる）

孝太郎 あ、かえで

かえで …ねえ、孝太郎ってさ、私のこと

孝太郎 好きだよ！

かえで そう…私も…私も…？

高島、登場。下手に孝太郎、中央にかえで、上手に高島という位置関係。

かえで あっ、高島さん！

かえで、高島に手を振る。高島、手を振り返す。

SE 雨の音。高島、傘をさす。かえで、孝太郎のほうに向きなおるが、孝太郎は退場。

かえで、高島の傘の中に入る。

♪All of Me

4

悪魔 彼女が浮気するはずなんてないってお前は思ったかもしれない。でもな、変化は常に起きてたんだ。お前とかえでの関係性も、ずっと安定していたわけ

じゃないんだよ。当たり前にお互いずっと好きでいると思っていてもな、お前の気づかないうちに彼女は寂しさを感じていたってこともあるのよ

孝太郎 …そうかもしれない…俺、無意識のうちに、自分のことではいいっぱいになって、かえでとの時間をないがしろにしていた

悪魔 ひとりよがりになってた

孝太郎 ああ

悪魔 彼女が髪を切ったことにも気づかなかったよなあ

孝太郎 ああ、そんなこともあったな…

悪魔 忙しいとか言いながら、家でずーっと漫画読んで、かえでと会っても就活と

バイトの愚痴ばかり

孝太郎 もうやめろって。俺に非があるのはわかったから

悪魔 孝太郎

孝太郎 彼女も変わるよな、そりゃあ。付き合って1年も経つんだから

悪魔 彼女だけじゃない。お前も

孝太郎 …俺もか、そうだな。いろいろ、変わったんだろうな

悪魔 お前、本当にかえでのこと好きなのか？

孝太郎 何言ってるんだよ。好きだよ

悪魔 彼女の優先順位、下がってるだろ。無意識のうちにかもしれないけどよ。お前さ、浮気されたのはショックだろうけどよ、いいタイミングじゃねえの？
他の男に乗り換えられたって考えると悔しい、それはそうだけどさあ、結局お前はもう、かえでのことは大して好きじゃないんだよ

孝太郎 そんなわけないだろ！ ……そんなわけないよ

悪魔 かえでにはもうあの男がいる。あいつと別れさせてまで、かえでとやり直したいのか？

孝太郎 ……もう手遅れなのかな

悪魔 いいか、大事なのは解釈だ。ポジティブに捉えろよ、どうせこの世にハッピーエンドなんて存在しないんだからさ

天使、登場。

天使 孝太郎？

孝太郎 …

天使 動こうよ。何かしないと

孝太郎 …俺は…俺は、やっぱりかえでが好きなんだと思う。いろいろあったけど、お互い変わったと思うけど、けどやっぱり、忙しさとか、気分とかの問題じゃない、俺はかえでのが好きだから。人として、尊敬してるから。俺にはない物ばかり持ってて、一緒にいるだけで世界が違いうように見えるんだよ。…行かなきゃ。ちゃんと伝えないとね、そしたらきつと…

孝太郎、天使と目を合わせ、悪魔を一瞥して退場。

悪魔 話の分からないやつだ

天使 あなたこそ、まったく話が通じないわ

悪魔 能天気でいるのは結構だが、最終的に傷つくのは自分だからな？

天使 ねえ、踊りましょ？

悪魔 はあ、相変わらず、非生産的なことが好きだねえお前さんは

BGM

天使と悪魔、踊る。暗転。

SE 船の汽笛。かえで板付き。孝太郎、走ってくる。

孝太郎 かえで…！

かえで 孝太郎。ごめんね

孝太郎 あのさ、俺……じゃなくて。…こっちこそごめん

かえで え？

孝太郎 かえでのこと、もっと大切にしなきゃいけなかった。かえでがいることで、俺の世界は明るくなった。それが、かえでが俺のそばにいたことが、当たり前じゃないんだってことを、忘れてた。いや、甘えてた。…かえでは特別な存在なんだ。ほんと、俺にはもったいないくらい、それはもう、本当に。…やり直してくれないかな

長い間。

かえで …ごめん

孝太郎 ……

かえで ありがとう、嬉しい。そんなこと、言われたことないから

孝太郎 …もっと早く言えばよかった

かえで そうだよ。遅いよ

孝太郎 …ごめん

かえで ありがとね。私もね、孝太郎のことは大切に思ってた。浮気してごめん。傷ついたよね

孝太郎 …まあ、そうだね

かえで でも、別れよ。……孝太郎は、やり直せるって思ってるかもしれないけど、何ていうか、そういう問題じゃなくて。勝手にごめんだけど、どちらかという私の問題で、孝太郎のせいじゃないんだけど…もう付き合っていないほうがいいと思うの

孝太郎 …そんな

かえで 殴ってあげようか？

孝太郎 何でだよ

かえで そしたらさ、私のこと嫌いになるんじゃない？

孝太郎 余計なお世話だよ

かえで はは、そうだよね

孝太郎 …ひどいなあ

かえで 元気でね

かえで、退場。

悪魔 青年は、落ち込んだ気分であった

孝太郎 Oh yeah!! Very very FUNKY!!

陽気な音楽。

おわり。